

作業効率アップで処理量増加 循環型社会への貢献をより強固に

金属、自動車、容器包装、古紙など、あらゆるリサイクル事業を展開する同社。
ペットボトル再商品化事業において抱えていた課題を解決すべく、生産ラインを自動化しました。



代表取締役

井上 博功
いのうえ ひろのり

生産効率を激変させた 開梱機とラベル剥離機

「当社は公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の委託を受け、南九州圏域の市町村から買い取った廃棄済ペットボトルの選別粉碎処理を行い、できあがったフレークを事業者に販売しています。その処理工程のうち、選別とラベル剥がしを手作業で行っていたため作業効率が悪く、できあがるフレークの品質も納得いくものではありませんでした。市町村等から納入される廃棄済ペットボトルは、堅く圧縮された塊になっており、これを業者が解体していたのですが、それには力も手間も必要で、ラベルを剥ぎ取るのも至難の業でした」

「客との信頼関係をさらに深めるため、そして循環型社会構築への貢献をさらに強固なものにするため、同社は開梱機とラベル剥離機を導入し、粉碎処理工程を自動化しました。『二つの機械を導入したことで開梱から粉碎までのラインを自動化でき、作業効率が大幅に上がりました。課題だった品質の向上も解決できたことで販路拡大の道も見えましたし、従業員からは『肉体的にも精神的にも楽になった』という声が上がっています。今後も処理量を増やしてさらなるリサイクル社会の進展に寄与していきたいと思っています」



納入されたペットボトルの塊。

ペットボトルの塊を開梱機に投入すれば、ラベル剥離機、粉碎機へと自動で流れていく。



処理量 20% アップ

これまで1日800kgだった処理量が、開梱機とラベル剥離機によって20%上昇。人員を他の作業に回せるようになったことで、会社全体で見ても大幅に作業効率が上がりました。

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント!



開梱機でバラバラにされ排出されるペットボトル。



できあがったペットフレークは再びペットボトルに生まれ変わるだけでなく容器や衣類の原料にもなる。

ものづくりへの想い

当社は直接製品をつくっているわけではありませんが、原料を製造することで循環型社会を支えています。人のため、社会のため、地球のため。そんな誇りを持って取り組める、やりがいのある仕事です。

今後の展望

私たちの仕事は循環型社会に直結した事業です。SDGsが叫ばれるようになってその大切さが社会に認識されてきました。今後はさらに処理量を増やして社会に貢献していきたいと考えています。

case
03

廃棄物処理業

株式会社 井上商店

設立：1974年

代表取締役：井上 博功

資本金：2,467万円

従業員：80名

事業内容：総合リサイクル業

〒884-0005

宮崎県児湯郡高鍋町大字持田1860番地3

TEL.0983-23-0472

FAX.0983-23-5312

<https://www.inoue-r.co.jp/>